

【役割 3】

学びを深め、活かす

- 市民の学びに関するニーズの把握につながる事業
- 地域で学び合う場を創出し、地域の課題を解決するための支援につながる事業
- 地域で活動する人材の育成や、学びを入口にした地域団体の形成につながる事業

まちだ市民大学HATS 前期 「まちだの福祉」
～「福祉×●●」を探す旅へ、あなたのできる『福祉』を探しに～

【役割3】
学びを深め、
活かす

目 的

多様性や共生社会を実現するために、自分なりの「福祉×●●」を見つけ、福祉に携わっている方、まだ知らない方にも、新たな世界を広げる機会とします。

対 象

どなたでも
※応募多数の場合は、①町田市在住の方②2024年度未受講の方を優先

周知方法

広報・ホームページ・チラシ・生涯学習NAVI・募集案内・X

費 用

1,500円

会 場

町田市民フォーラム、玉川学園コミュニティセンター

日 時
内 容
講 師

回	日 時	内 容	講 師
1	5月16日(金) 18:30～20:30	【福祉×共生社会】ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の実現に向けて	桜美林大学 健康福祉学群 准教授 谷内 孝行 氏
2	5月30日(金) 18:30～20:30	【福祉×表現】 つくること・描くこと それぞれの表現のかたち	クラフト工房 LaMano 施設長 高野 賢二 氏
3	6月14日(土) 14:00～16:00	【福祉×挑戦】＜公開講座＞車いす女子大生が語る未来への道～私のストーリーとその先へ～	モデル 玉置陽葵 氏
4	6月27日(金) 18:30～20:30	【福祉×コミュニケーション】交流分析で考える“地域での対話力”～障害特性を理解し、より良いコミュニケーションを築く～	心理カウンセラー 山田 勉 氏
5	7月11日（金） 18:30～20:30	【福祉×地域】多世代の地域の活動拠点 みんなの居場所・振り返り	町田・ワークス まちの縁がわ小山田桜台 木野 直美 氏

募集・
参加状況

募 集	応 募	参 加（延べ）	修了者数
20人	9人	31人	7人
募集（公開講座）	応募（公開講座）	参加（公開講座）	
30人	32人	27人	

参加者の声

- ・福祉についての知識を得たかった。また、色んな方とのグループ活動をする機会があるので、色んな人の意見を取り入れるいい機会になったと思った。
- ・福祉について、自分の知識のアップデートをしたかった。登壇する先生が魅力的だったため。
- ・車いすの方の人生を紹介いただき葛藤や苦勞が伝わってきて印象に残りました。地域を良くしたいと思い、行動にうつされた方の体験を伺えて勉強になりました。
- ・日々丁寧にメンバーの皆さんとスタッフ・ボランティアの方々が時間を重ね、得意や好きをかけあわせて作品を作っているんだと感じました。高野さんが「メンバーだけではなく、関わる全ての方が幸せになること、それが（＝福祉）目指すところ」と言うお話は、これからの福祉の在り方を考える大切な視点だと思いました。ありがとうございました！

講座風景



第1回【福祉×共生社会】



第2回【福祉×表現】



第3回【福祉×挑戦】＜公開講座＞



第4回【福祉×コミュニケーション】



第5回【福祉×地域】

まちだ市民大学HATS 前期 まちだのまちとくらしのエコ入門 ～地球にやさしい「くらし方」を探して～

【役割3】
学びを深め、
活かす

目 的

本講座は、座学や現場での体験、見学等を通して、町田市環境全般について学ぶとともに、環境保護の意義や役割についての理解を深め、環境にやさしくくらし方を見つけることにより、地域活動の担い手や環境に配慮した市民の育成を目指します。

対 象

どなたでも
※応募多数の場合は、①町田市在住の方②2024年度未受講の方を優先

周知方法

広報・ホームページ・チラシ・生涯学習NAVI・募集案内・X

費 用

1,500円

会 場

玉川学園コミュニティセンター、町田市バイオエネルギーセンター、奈良ばい谷戸、(株)日本フードエコロジーセンター、鶴見川流域センター、多摩動物公園

日 時 内 容 講 師

回	日 時	内 容	講 師
1	5月18日(日) 10:00～12:00	【基調講義】 ・オリエンテーション ・温暖化とエネルギー問題 ・受講者交流会	・中央大学兼任講師 宗像 慎太郎 氏
2	5月30日(金) 10:00～15:00	【3R講義・施設見学】 ・食べ物と3R ・町田市バイオエネルギーセンター見学	・ごみ問題ジャーナリスト 江尻 京子 氏 ・循環型施設管理課職員
3	6月7日(土) 10:30～13:45	【農業体験】 ・奈良ばい谷戸で田植えをしよう！ ・里山講義「都市農業の意義」	・まちだ結の里 ・恵泉女学園大学准教授 宮内 泰之 氏
4	6月28日(金) 10:00～12:30	【防災講義】公開講座 ・講義「鶴見川流域治水における町田市の貢献と課題」 ・鶴見川流域センター・多目的遊水地見学	・慶応義塾大学名誉教授 岸 由二 氏 ・鶴見川源流ネットワーク職員
5	7月11日(金) 10:00～14:00	【フィールドワーク】 「生物多様性を楽しく学ぼう！」多摩動物公園見学	・多摩動物公園動物解説員
6	7月19日(土) 10:00～12:00	【まとめ、修了式】 ・学習のまとめ「まちとくらしの物語」 ・振り返り交流会、修了式	・恵泉女学園大学教授 篠田 真理子 氏

※オプション

6月20日(金) 9:40～11:10	【施設見学】「企業の環境への取り組みについて知ろう！～余った食品を発酵飼料に～」	(株)日本フードエコロジーセンター
------------------------	--	-------------------

募集・
参加状況

募 集	応 募	参 加（延べ）	修了者数
20人	10人	46人	6人
募集（公開講座）	応募（公開講座）	参加（公開講座）	
30人	18人	14人	

参加者
の 声

- ・ 講師から「温暖化対策のためにわざわざ取り組む」のではなく「何かをするときに、温暖化対策となるものを選ぶ」との話があった。この言葉で省エネの取り組みにがんばれると思った。
- ・ 谷戸（里山）は適切に人の管理があれば生き返ることを学んだ。
- ・ 鶴見川は自宅から離れているので身近ではなかった。先生のお話を聞いて、鶴見川で40年も治水対策をしてきたことを詳しく知った。健全な水循環系を保つことの重要性がわかった。
- ・ 解説員の方の話を聞き、動物を守るための動物園の取り組みがよくわかった。
- ・ “町田”を客観的に多角的にみることで今自分が住んでいるところに対する理解が深まった。
- ・ フードロスが多いとは聞いているが、こんなに多いことを実感した。それを飼料にしたり電気を作ったり、肥料にしたり有効活用されていることに驚いた。

講座風景



▲基調講義の様子(第1回)



▲バイオエネルギーセンター(第2回)



▲田植えの様子(第3回)



▲公開講座の様子(第4回)



▲多摩動物公園(第5回)



▲フードエコロジーセンター(オプション)

まちだ市民大学HATS 後期 「まちだの福祉」
 ～「福祉×自分」をみつけに ～今、あなたができること～

【役割3】
 学びを深め、
 活かす

目 的

多様性や共生社会を実現するために、自分なりの「福祉×●●」を深く学び、実践し、自分でも気が付かない新たな可能性を探す機会とします。

対 象

どなたでも
 ※応募多数の場合は、①町田市在住の方②2025年度前期受講の方を優先

周知方法

広報・ホームページ・チラシ・生涯学習NAVI・募集案内・X

費 用

1,500円

会 場

町田市民フォーラム、町田第一中学校、町田市バイオエネルギーセンター

日 時
内 容
講 師

回	日 時	内 容	講 師
1	10月10日(金) 18:30～20:30	【福祉×共生社会】「人権」から考える共生社会づくり～障害平等研修をやってみよう！～	桜美林大学健康福祉学群 准教授 谷内 孝行
2	10月17日(金) 18:30～20:30	【福祉×挑戦】見て、触れて、学ぼう！車いす&日本手話体験～体験を通じて、やさしい社会を考えよう～	・町田ヒューマンネットワーク ・JSLアミーゴ倶楽部
3	10月31日(金) 18:30～20:30	【福祉×コミュニケーション】地域福祉に役立つ！誰もが安心できるコミュニケーション講座～みんなが安心できる地域の会話、はじめませんか？～	心理カウンセラー 山田 勉 氏
4	11月9日(日) 10:00～14:00 11月16日(日) 10:00～14:00	【福祉×表現】町田市障がい者青年学級でのボランティア体験～自分にできる支援を見つけよう～	町田市障がい者青年学級 (公民館・ひかり学級)
5	11月21日(金) 18:30～20:30	【福祉×地域】ゲームやワークを通じて自分のできることを考えよう！ ・振り返り	・町田市地域活動サポートオフィス 喜田 亮子 氏 ・プログラム委員

募集・
参加状況

募 集	応 募	参 加 (延べ)	修了者数
20人	5人	21人	5人

参加者の声

- 最後の『特権』に関するワークが一番考えさせられました。丸めた紙をみんなでパスしていけば、後ろの人でもゴミ箱に入れることができたんだと思いました。知恵と周りを見ることが大事ですね。
- 車いす初デビューしました。車いすユーザーの悩みや困っていることがほぼ同じなので、障がいの種類なんて関係ないと思いました。
- 知的障がいの方の意見を汲み取って、計画から実施に至るまで行われていて、一昔前とはずいぶん変化がある、と実感しました。
- 福祉というと専門的な色が強いイメージだが、誰でも気軽に世の中のいろんな人と関わっていくことなんだということが分かって良かったです。“ふつうの暮らしを幸せにする”って言葉が心に残りました。

講座風景



第1回【福祉×共生社会】



第2回【福祉×挑戦】



第3回【福祉×コミュニケーション】



第4回【福祉×表現】



第5回【福祉×地域】

まちだ市民大学HATS 後期 まちだの水とみどり入門 ～大切な水とみどりを守るために～

【役割3】
学びを深め、
活かす

目 的

本講座は、座学や現場での体験、見学等を通して、町田市環境全般について学ぶとともに、市民団体の活動に参加することで、環境保護の意義や役割についての理解を深め、講座修了後の活動参加に繋げるなど、地域活動の担い手となる市民の育成を目指します。

対 象

どなたでも
※応募多数の場合は、①町田市在住の方②2024年度未受講の方を優先

周知方法

広報・ホームページ・チラシ・ポスター・生涯学習NAVI・募集案内・X

費 用

1,500円

会 場

玉川学園コミュニティセンター、小野路町奈良ばい谷戸、
上小山田みつやせせらぎ公園、三輪南谷、鶴見川クリーンセンター

日 時 内 容 講 師

回	日 時	内 容	講 師
1	9月27日(土) 13:45～16:15	【基調講演】 ・オリエンテーション ・「まちだ市民大学HATSとの出会い～30年+」 ・受講者懇談会	NPO法人鶴見川源流ネットワーク理事（事務局長） 深見 幹朗 氏
2	10月12日(日) 10:30～13:30	【農業体験】 ・奈良ばい谷戸で稲刈りをしよう！ ・里山講話	・NPO法人まちだ結の里 ・同法人理事長 田極 公市 氏
3	10月26日(日) 10:15～13:30 (雨天中止)	【水の体験】 ・「生きものの生育・生息・繁殖環境のお世話」 ・交流会	鶴見川源流自然の会
4	11月8日(土) 10:15～15:00	【緑の体験・施設見学】 ・「三輪南谷ふるさとの森で竹林の管理作業」 ・「使った水のゆくえを知る」	・三輪みどりの会 ・鶴見川クリーンセンター
5	11月15日(土) 14:00～16:00	【公開講座】 ・講義「環境と危険生物」	東京家政大学 講師 片田 真一 氏
6	12月6日(土) 14:00～16:00	【まとめ、修了式】 ・「大切な水とみどりを守るために私たちにできること」 ・振り返り交流会、修了式	和光大学 教授 堂前 雅史 氏

募集・
参加状況

募 集	応 募	参 加 (延べ)	修了者数
20人	6人	23人	5人
募集 (公開講座)	応募 (公開講座)	参加 (公開講座)	
80人	25人	20人	

参加者
の 声

- ・ HATSの歴史を知れて、興味深かった。マダケやアズマネザサが猛威をふるっているお話を興味深く聴きました。
- ・ 里山の再生のために多くの人のご尽力があることを知りました。また環境を守るために自分に何ができるのかを考えさせられました。
- ・ 竹林が土地に与える影響など、あまり考えていなかったことに気がありました。正しく手入れをされないと良好な自然環境が維持できないと改めて考えさせられました。
- ・ 下水をきれいな水（中水）に変える過程、今まできちんと知ろうとしていなかったけど、今回興味深く聞き、見学させていただきました。
- ・ ハナバチとカリバチの豊かな個性、活動を知ることができた。とても面白い講演でした。
- ・ 町田のみどりと水に関する包括的な理解ができました、「Nature Positive」の考え方を学びました。

講座風景



▲奈良ばい谷戸(第2回)



▲三輪南谷ふるさとの森(第4回)



▲鶴見川クリーンセンター(第4回)



▲公開講座の様子(第5回)

市民提案型事業 講座づくり★まちチャレ マイライフ・マイステージ in 町田

【役割3】
学びを深め、
活かす

目的

自分の人生体験や物語を元に、演劇のワークショップや創作活動を通じて自分自身を振り返り表現する「自分劇」を受講者に体験してもらい、自己理解を深め、他者との共感をはぐくみ、表現のすばらしさを体験してもらうことを目的とする。

企画

表現の芽をはぐくむ会

対象

原則として市内在住・在勤・在学の方

周知方法

広報・ホームページ・チラシ

会場

生涯学習センター

費用

無料



▲講座の様子（第1回）

日時 内容 講師

回	日時	内容	講師
1	3月7日(土) 13:00~17:00	①「アイスブレイク」初めて集う参加者同士、心を開いて表現する準備をする ②「人生の棚卸し」自分の人生の印象的なエピソードを紹介し合い、発表内容を決定する。	桜美林大学 芸能文化学群長 桜美林芸術文化 ホール館長 演劇・ダンス専修 教授 能祖 将夫 氏
2	3月14日(土) 13:00~17:00	前回講座で決定した発表内容に、講師のアドバイスも戴きながら演劇表現を加え、成果発表会に向けて形を作っていく。	
3	3月21日(土) 13:00~19:00	ホールのステージで実際に動きつつ、成果発表会に向けて準備を整える。成果発表会は17時開演。観客も公募する。	

募集・ 参加状況

募集	応募	参加	観覧者
6人	7人	5人	32人

参加者 の 声

- ・ 人の人生のストーリーを聴くことについて、もともととても興味がありました。語り、聴き、共有し合うことで、豊かな時間を創り出すことができるのだと、改めて体感することができました。こういった機会を、様々な場所で益々作っていきたいと思っており、今回ははじめての一步を踏み出させてもらった思いです。

観覧者 の 声

- ・ お一人おひとり皆さんのかけがえのない人生のエピソードを丁寧にお話くださり、心より笑い、共鳴し、感動し、あたたかい気持ちになりました。すばらしいステージをありがとうございました。
- ・ 人それぞれのエピソードは当然自分のものではない為、よい体験談を聞かせてもらった。一人ひとりの観点は異なるので、とても新鮮であった。

市民提案型事業 講座づくり★まちチャレ
戦争と平和を「言葉」と「絵」で伝える

【役割3】
 学びを深め、
 活かす

目 的

戦後80年を過ぎても絶えない戦争について、「朗読」や「絵本」を通じて、平和について考えるきっかけとする。

企 画

朗読劇 座・風鈴

対 象

どなたでも（応募者多数の場合は市内在住者優先）

周知方法

広報・ホームページ・チラシ・NAVI

会 場

生涯学習センター

費 用

無料

**日 時
内 容
講 師**

回	日 時	内 容	講 師
1	2026年2月17日 (火) 14:00～16:00	【絵本で伝える戦争と平和】 ●講義：絵本の社会的側面・メディアとしての役割、「平和」「戦争」をテーマにした絵本の紹介 など ●グループワーク：小グループに分かれて講師の指定した絵本を読み、各々の感想を語り合う ●質疑	絵本コーディネーター 東条 知美 氏
2	2026年3月10日 (火) 14:00～16:00	【朗読を通じ、平和について語り合う】 ●「りゅう子の白い旗」の朗読劇 ●グループ内で感想などを共有 ●まとめ	朗読劇 座・風鈴 (企画団体)

**募集・
参加状況**

募 集	応 募	参 加 (延べ)
30人	30人	50人

**参加者
の 声**

- ・このような対話的なグループワークを小学生がやっていることに、子どもから大人が学ばなければいけないことがたくさんあると思いました
- ・参加して良かったです。私は会社員を退職後、「戦争と平和」に関する何か活動できないかと考えていました。戦争に行った父の体験を録音したテープがありますので、これを活かす方法を考えています
- ・文と版画がとてもわかりやすく、理解しやすく良かったです。座・風鈴の皆様の声が響いてきて、ストレートに伝わり心に落ちて、実りのある時間を過ごすことができました。声の力を心強く感じました
- ・朗読や児童文学を通じて、戦争と平和についていろいろ考えることができました。聞くだけでなく話し合いがとても有効で大切と思いました。是非これからも話にしていきたいです



▲講師：東條 知美氏（第1回）



▲朗読劇の様子（第2回）

市民提案型事業 講座づくり★まちチャレ 手話で伝わる喜びと魅力を体験！

【役割3】
学びを深め、
活かす

目 的 手話を知らない方に、手話のすばらしさを広く知ってもらうことを目的とする。

企 画 町田ろうなん協会

対 象 どなたでも

周知方法 広報・ホームページ・チラシ

会 場 玉川学園コミュニティセンター

費 用 無料



▲講座の様子（第3回）

**日 時
内 容
講 師**

回	日 時	内 容	講 師
1	2026年1月24日 (土) 14:00～16:00	「静粛と轟音のあいだで～人生という名の カセットテープ～」 (聴こえない世界について知っていただ く)	元人形劇団デフ・パ ペットシアター・ひとみ代 表 善岡 修 氏
2	2026年2月28日 (土) 14:00～16:00	「東京デフリンピックを闘い終えて」 (デフリンピックに出場（2025年11 月）して、スポーツを通じた世界との繋が りや出場した生の感想また結果の報 告)	東京2025デフリンピッ ク自転車競技日本代 表 早瀬 憲太郎 氏
3	2026年3月14日 (土) 14:00～16:00	「非言語コミュニケーションワークショップ」 (非言語コミュニケーションを体験し、手 話の学びに繋がるようにする)	元人形劇団デフ・パ ペットシアター・ひとみ代 表 善岡 修 氏

**募集・
参加状況**

募 集	応 募	参 加 (延べ)
30人	51人	77人

※手話通訳・要約筆記付き

**参加者
の 声**

- ・ 手話には興味があったが、何となくしか知らなかった。思っていた以上に表現力、感情力があり、とても奥深いと感じた。
- ・ 共生（共に生きる）社会はあたり前、その先に何を作っていくか、を実行されている姿に勇気をいただきました。理解でなく、認め合うことから始まりますね。
- ・ 手話は表情も大事とよく言われますが、「表情を使う」ということがよく学べました！
- ・ ろうの方にしかわからない事は多々あるとは思いますが、少しでも相手の事を知ろうとすれば、わからないことに気づききっかけになると思います。

市民提案型事業 講座づくり★まちチャレ 子ども時代の心と向き合う講座

【役割3】
学びを深め、
活かす

目 的

当事者の体験談やワークショップを通して、子ども虐待・ヤングケアラー等の問題を皆で考えます。

企 画

子どもの未来をかえる会

対 象

町田市在住・在学・在勤で子育て中の方。
児童福祉に関心のある学生または関係者。

周知方法

広報・ホームページ・チラシ・X

会 場

生涯学習センター

費 用

無料



▲講座の様子（第1回）

日 時
内 容
講 師

回	日 時	内 容	講 師
1	2026年1月31日 (土) 14:00～16:00	見えづらいトラウマを知る	一般社団法人 Onara 代表理事 丘咲 つぐみ 氏
2	2026年2月8日 (日) 14:00～16:00	ヤングケアラーの経験から ～子どもらしさを考える～	元ヤングケアラー 現ダブルケアラー 友田 智佳恵 氏
3	2026年2月23日 (月・祝) 14:00～16:00	子どもが「助けて」と言えないのはなぜ？	季刊Be!編集者 NHK番組「toi-toi」 出演者 風間 暁 氏

募集・
参加状況

募 集	応 募	参 加 (延べ)
30人	30人	51人

※うち保育付き 8人

参加者
の 声

- ・ データによる裏付けがあり、思っていたのと自分の認識と違っていた。大人とか子どもとか若者とか、年齢は関係ない支援・視点が大事だと思いました。
- ・ 社会（地域）や大人が担いきれない役割を子どもが担っている。子どもにも“ケアしない”という権利もある。とても心をゆさぶるお話をありがとうございました。
- ・ 辛い幼少期の体験を聞いた。自分自身の過去も思い出された。「子どもたちから相談されるような大人を目指す」という力強い言葉が印象的だった。
- ・ ほんのささいなことでも、虐待に通じていく。子は生まれながらに親を好きはずなのに（保護を求めている）親から愛情をかけてもらえない。薬物依存は非行からではなく、大人が信じられないせいというのはビックリした。

家庭教育支援講座修了者団体企画 「子育てママのおしゃべり会～センサリーボトル作り～」

【役割3】
学びを深め、
活かす

目的

子育て中の保護者が、親子で参加できる交流の場を作ることで、楽しみながら地域の繋がりを育むことを目指します。また、生涯学習センターで学んできた子育て中の母親達（企画運営団体メンバー）が主体的に運営し、達成感を味わうことで地域で家庭教育を支える活動を継続していくことを目指します。

対象

乳幼児から小学生の親子

日時

2026年2月14日（土）
10：00～11：30

周知方法

広報・まちだ子育てサイト・チラシ・
子育てひろばカレンダー・
メール配信サービス

費用

無料

会場

生涯学習センター

企画運営

ポジティブママ（2024年度家庭教育支援学級修了者団体）

内容

- ・参加者同士が交流を深めながら、子育ての悩み相談やおすすめの情報共有を気軽に行える場を提供しました。
- ・透明なボトルに水、ビーズ、ラメなどを入れるセンサリーボトルを親子で行いました。

募集・ 参加状況

実施	参加（延べ）
1回	3組（9名）

参加者の声

- ・とても楽しかったです。材料などたくさん用意してくださり、ありがとうございます。
- ・土曜日にこういったイベントがありませんので、ありがたいです。
- ・センサリーボトル作りに興味があったので参加しました。



▲センサリーボトルを作りました



▲参加者同士で交流中

家庭教育支援学級 「にこにこクラス～絵本で広がるみんなの輪～」 「みんなと作ろう子育て講座！ハッピーゼミナール」

【役割 3】
学びを深め、
活かす

目 的

子育て中の保護者を対象とした学習機会の提供を通じて、家庭教育力向上と地域で家庭教育を支援する人材（担い手）を育成することを目的に実施します。学級活動を通して、学級生同士が、子育てについて身近に相談し合える仲間になることを目指します。

対 象

市内在住の子育て中の方

日 時

にこにこクラス：2025年6月～2026年2月
ハッピーゼミナール：2025年5月～2026年3月

周知方法

広報・まちだ子育てサイト・チラシ・ポスター
生涯学習NAVI・X・メール配信サービス

費 用

無料 企画講座の様子▶
(ハッピーゼミナール)

会 場

にこにこクラス：忠生市民センター
ハッピーゼミナール：なるせ駅前市民センター・
生涯学習センター

内 容

【にこにこクラス】今年度のテーマは「絵本」。「子どもが絵本から学ぶこと」、「絵本を通じた親子のコミュニケーション」といった家庭教育内の事柄から、「絵本によって繋がる輪」といった学級生同士のつながりや地域との関わりまでを学び、連続講座の最後に絵本の会を開催することを目標として実施しました。

【ハッピーゼミナール】子育て中の保護者ならではの視点を活かし、身近な悩みや疑問をもとに、仲間同士で話し合いながら、「これでいいんだ！ポジティブ子育て～寄り添う・見守る、子どもの発達～」を企画・運営しました。

募集・ 参加状況

参加団体数	回数（延べ）	参加（延べ）
2グループ	28回	182人

参加者 の 声

- ・ 絵本づくりの約1年間、本当に学びの多い講座でした。
- ・ 自分達で絵本の会を行うことがとても実践的で楽しかったです。
- ・ はじめて子どもを預ける経験をしました。預けることが「不安」から「大安心」に変わったことは母子共に大きな大きなステップでした！
- ・ ママ同士いろんなバックグラウンドの人と作り上げるのがたのしかったです。
- ・ 自分が調べるだけでは得られない知識や情報を、同世代のママさんたちと意見を交わしながら学びました。
- ・ 学ぶこと、企画することの楽しさをまたあらためて感じた。



▲成果発表「絵本の会」の様子
(にこにこクラス)



家庭教育支援学級ゼミ企画講座 「これでいいんだ！ポジティブ子育て ～寄り添う・見守る、子どもの発達～」

【役割3】
学びを深め、
活かす

目的

子育て中に感じる「発達のモヤモヤ（悩み・不安）」を共有する機会を提供し、特性をポジティブに捉え、その付き合い方や対応の仕方を専門家から学ぶ場を設けます。また、学んだことを実生活に活かすきっかけを作ることを目指します。

企画

みんなと作ろう子育て講座！ハッピーゼミナール生

対象

市内在住の幼児から小学生の子を持つ保護者

周知方法

広報・まちだ子育てサイト・生涯学習NAVI・
チラシ・X・メール配信サービス



▲講座の様子

会場

生涯学習センター

費用

無料

日時 内容 講師

回	日時	内容	講師
1	2月3日(火) 10:00～12:00	発達の凸凹を知ろう！～パパママのモヤモヤ、先生に聴いてもらおう！～	ゆるみ☆子育て代表 堀内祐子氏
2	2月10日(火) 10:00～12:00	こんなときどうしたらいいの？～特性のある子とのコミュニケーション術～	ゆるみ☆子育て代表 堀内祐子氏
3	2月17日(火) 10:00～12:00	これでいいんだ！をシェアしよう！～学んだことを子どもたちにつなげる～	

募集・ 参加状況

募集	応募	参加（延べ）
20人	16人	45人

参加者の 声

- ・ 同じグループなど他のお母さんたちも色々な悩みを持っていてがんばっている姿を見て、自分もがんばりたいと思った。今日聞いた話を少しずつ実践していきたいです。
- ・ 先生方の話を伺い、子どもの立場としての気持ち、親としての気持ちを同時に聞けて良かったです。子どもは必ず成長する、子どもを信じてすごしています。
- ・ ポジティブな選択肢を子供に、という話が心に残りました。実践してみようと思います。
- ・ ざっくばらんに色々な話ができて嬉しく、楽しく、気分転換になりました。同じような悩みをもちつつ、子どもと母の個性があって、それぞれの子育てを励ましあえたように感じました。

特別教室等の地域利用

【役割3】
学びを深め、
活かす

目 的

町田市立小・中学校の施設を積極的に地域利用に供することにより、地域活動の場として活用していただくことを目的とします。

利用要件

- ① 市内に活動拠点のある団体で、代表者が市内在住の15歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した者であること。
 - ② 構成員が5人以上であり、かつ、その半数以上が市内在住・在勤・在学であること。
 - ③ 構成員全員が同居の家族でないこと。
 - ④ 営利を目的とする団体でないこと。
 - ⑤ 政治・宗教活動でないこと。
 - ⑥ その他、教育委員会が不適当と認める団体でないこと。
- ※ 利用にあたっては、団体登録が必要です。

開 放 校

- 木曽境川小学校 （木曽西1-9-1）
（音楽室、家庭科室、ランチルーム）
- 小山ヶ丘小学校 （小山ヶ丘5-37）
（第三音楽室、理科室、図工室、音楽室、家庭科室）
- 鶴川中学校 （小野路町1905-1）
（小ホール、ミーティングルーム）
- 町田第一中学校 （中町1-27-5）
（武道場、交流ホール、多目的室、音楽室、調理室）

開 放 日 ・ 時 間 帯

【小学校】

- | | | |
|----------|------|-------------|
| ○ 火・木曜日 | 夜間の部 | 18：30～21：00 |
| ○ 土・日曜日 | 午前の部 | 9：00～12：00 |
| 及び祝日 | 午後の部 | 13：00～17：00 |
| | 夜間の部 | 17：30～21：00 |
| ○ 学校の休業日 | 午後の部 | 13：00～17：00 |
| | 夜間の部 | 17：30～21：00 |

【鶴川中学校】

- | | | |
|---------|------|-------------|
| ○ 木・金曜日 | 夜間の部 | 18：30～20：30 |
| ○ 土・日曜日 | 午前の部 | 9：00～12：00 |
| 及び祝日 | 午後の部 | 13：00～17：00 |

【町田第一中学校】

- | | | |
|---------|------|-------------|
| ○ 月・火曜日 | 夜間の部 | 19：00～21：00 |
| ○ 土・日曜日 | 午前の部 | 9：00～12：00 |
| 及び祝日 | 午後の部 | 13：00～17：00 |

利用実績

	利用者数	利用件数
木曽境川小学校	2,549人	83件
小山ヶ丘小学校	362人	36件
鶴川中学校	355人	12件
町田第一中学校	10,454人	559件
合計	13,720人	690件

地域活性化イベント

町田第一中学校の地域利用によって、多世代交流や地域活性化が促進されることを期待して、イベントを実施しました。

日時 内容 講師

回	日時	内 容
①	8月3日(日) 11:00～17:00	扇子に好きな絵を描こう！ In ルミネ町田
②	12月6日(土) 9:00～15:00	オリジナルリース作り In 芹ヶ谷公園
③	12月6日(土) 10:00～16:00	作ろう、私のブックマーク クリスマスバージョン In 芹ヶ谷公園

募集・ 参加状況

参 加 (延べ)

141人

参加者 の 声

- ・ 出かけた帰りにフラット寄ったのですが、すぐに案内してもらえてよかった。かわいいシールをたくさん用意してくれてたので、子ども達もはりきってうちわ作りができた。制作好きなので楽しそうでした。(①)
- ・ スタッフのみなさん親身で子ども親も楽しく体験することが出来ました。今回町田駅ちかくのルミネで活動を知りましたが、小学校、中学校で普段は活動されていると知り、また参加してみたいと思いました。今は暑くて子を公園など外で遊ばせることも難しいため、屋内活動は本当にありがたいです。(①)
- ・ 夏休みなので子どもが楽しめるイベントをさがしていました。とても良かったです。(①)
- ・ 子ども(2才)と参加しましたが、子どものペースで参加させてもらい、また時々必要なときに声をかけてくださりありがたかったです。ありがとうございました！(②)
- ・ 材料がたくさん準備されていてわくわくしました。教えてくださる方々もとてもやさしく、たのしい時間をすごせました。(②)
- ・ 初めてのリース作りとても楽しかったです！近所の公園でこういったイベントがあるのでとても嬉しいです。(③)
- ・ 楽しすぎました！！またやってほしい！(③)
- ・ しぜん(くさき)にふれられてアートもかんじられました(③)

